

明治大学校友会 東京都多摩支部 多摩市地域支部 紫紺



(第7号)

発行 明治大学校友会東京都多摩支部多摩市地域支部 発行日 平成28年6月1日
発行人 岩 淵 義 郎 住 所 多摩市愛宕2-2-4-303 Tel/Fax 042-356-2577

第三回定時総会開催

平成28年5月21日(土) 10時30分
分から多摩永山情報教育センター3F「美膳」(多摩市諏訪2-5-1)に於いて、会員19名出席のもと第三回定時総会を開催した。藤川幹事長が進行役を務め、開会に当たり岩淵支部長より「本日はご多忙のところご参加いただき誠にありがとうございます。熊本地震で被災された方に心からお見舞い申し上げますとともに、犠牲となられた方々には哀悼の意を申し上げ、黙祷をささげたいと思います。」

(全員で黙祷)

当地域支部の活動において、役員の皆様のご協力に対しこの場をお借りし感謝申し上げます。第三回定時総会を迎え成功裏に終えることを願い挨拶に代えさせて頂きます。」との挨拶があった。

続いてご来賓の多摩支部副支部長飯田光宏氏より「本日は西山多摩支部長がご祝辞を申し上げる予定でしたが、所用で来られなくなりました。」

熊本地震で亡くなられた方々に哀

悼の意を、被災された方々にお見舞いを申し上げます。町田地域支部では、支部会員全員に支援活動の呼びかけを行っているところです。西山



支部長より伝言を預かってまいりましたが、本日の議案書を拝見いたし

ますと、御地域支部はそれぞれ活発に活動を行っており、申し伝える事も無いように思いますが、取りあえずお伝えいたします。(詳細は議事録参照)

- ① 近隣地域支部との連携による活動参加について
 - ② ホームページ活用による女性及び若い世代の会員拡大
 - ③ 多摩支部総会開催のご案内
 - ④ 母校の箱根駅伝予選会応援について
 - ⑤ 11月12日開催の全国校友鳥取大会のご案内
- 本日は第三回定時総会おめでとうございます。」とのお言葉を頂戴した。

その後、議案審議を行い平成27年度の各部会活動並びに会計報告、さらに平成28年度の各部会活動計画並びに予算案の諸議案は全員異議なく原案通り承認可決された。(詳細は議事録参照)

議案審議終了後安波副支部長による万歳三唱が行われ、11時20分藤川幹事長が閉会を宣した。その後懇親会では創立3年を振り返りながらカラオケ、ビンゴで盛り上がり校歌斉唱で祝宴は終了した。

平成28年度活動計画

※予定行事は後日詳細を
ご案内します

一、カラオケ「紫紺の会」

毎月、楽しく開催♪

のど自慢の方も苦手の方も、お茶・ビールでのどを湿らせて、「カラオケ」を楽しむことのできる、親睦・交流の場です。多数のご参加をお待ちしております。

・日時：原則毎月最終土曜日

午後3時30分～6時15分

次の4日は決定しています。

7月30日、8月27日

10月29日、11月26日

・場所：ひじり館2F和室

・会費：500円

・参加申込：寺島企画部会担当

なお、会場予約の状

況により、日時が変

更になった場合は、

参加申込者へメ

ール等でご連絡

いたします。



二、日産自動車追浜工場見学

・日時：6月22日(水)

13時～14時半

・集合：京急追浜駅改札口11：20

・会費：千円程度(昼食代)

・申込締切り：6月17日(金)

矢場総務部会担当



三、第13回多摩支部定時総会

・日時：7月10日(日) 13～17時

・会場：立川グランドホテル

・会費：(男)六千円 (女)五千円

・案内：多摩支部より郵送されます

四、東京湾クルーズ

・日時：8月(予定)

五、東京地方裁判所 刑事裁判傍聴

・日時：9月(予定)

13時半～14時半

・会費：三千円程度(親睦会)

六、江戸川アートミュージアムと 競艇場見学

・日時：10月(予定)

競艇場見学

・会費：二千円程度(昼食代)

七、東京競馬場見学(貴賓室)

・日時：11月(予定)

・会費：五千円程度

八、ラグビー明早戦応援観戦

・日時：12月4日(日)

・場所：秩父宮ラグビー場

・会費：八千円

(入場料・懇親会費用含む)

平成27年度 下期活動報告

一、読売新聞府中工場を 見学して

見学して

茂木 有司(S43商)

2016年2月22日10時半より「読売新聞府中工場」を見学しました。

参加者8人は京王線中原駅に集

合して多摩川沿いの府中工場(正式

には株読売プリントメディア府中工

場、全国29印刷工場の一つ)に行

き、工場内部を興味深く見学させて

いただきました。

印刷現場見学の前にこの工場全

体の説明を受けその後、実際に見学

しました。工場では、読売本社から



読売新聞
府中工場見学記念
歓迎

の紙面データを受け取って新聞用の「印刷用の版」を作成し、それを基に印刷、その後は担当の地域(東京西部から山梨県の一部まで)に向けて約40万部発送するというものでした。

印刷現場では、大きな巻取紙(一つで1.1m×1.6m)からよくTVで

見る巨大な印刷

機で高速印刷

されるのを見て

ただ感心するば

かりでした。や

はりTVと実際

に見てみるとは

大違いでした。



二、防衛省・国会議事堂見学

伊東 勝義(S 35 商)

・防衛省

4月11日(月)午前9時20分に防衛省正門前に10名が集合、事前申請していた名簿と見学者の持参した身分証明書とをチェックし見学スタート。(さすが国防を司る省、チェックが厳しい)

現在の防衛省の地は、尾張徳川家のあった市ヶ谷台地が国に返還された後、昭和12年に陸軍士官学校、陸軍省が置かれ、戦後は米軍が接收、昭和34年に返還されました。そして同年、日本古来の「平等院鳳凰堂」をイメージに盛り込んだ戦後最大の公官庁建築物として建てられた同省に、自衛隊関係が入所しました。平成12年には防衛省が六本木より移転、敷地25ヘクタールの中に、自衛官、職員約一万人が勤務しています。

見学は正門から3名の案内人のもと、儀仗広場を通り、A・B・C棟の説明を受け「市ヶ谷記念館」へ。この大講堂はかの有名な極東国際軍事裁判(東京裁判)が行われた所ですが、2階の傍聴席を含め、意外と質素で狭いなぁと感じました。

しかし東条英機を初め、当時の関係者の重要な資料、記念品が展示されており、私は当時小学生だった終戦直後を思い出し感無量でした。

次に2Fの総監室へ。ここは1970年に作家・三島由紀夫が楯の会員4人と共に乱入した場所です。益田総監を人質にバルコニーで演説の後、



防衛省にて

45歳で割腹自殺をした部屋で、彼が扉に刀で付けた傷跡が3か所、生々しく残っているのが特に印象に残りました。

続いて屋外へリ展示場、隊舎、職員が働いているD・E及び厚生棟を見学、公務による殉職者の慰霊碑「メモリアルゾーン」で黙とうの後、防衛省を後にしました。

戦後70年を過ぎ、世界情勢が大きく変化している中、憲法問題を含め我が国の防衛について、考えさせられる見学でした。

・国会議事堂

午後12時15分地下鉄永田町駅で、今回見学を依頼した元内閣府特命担当大臣山本一太参議院議員の秘書、塩澤正男氏に出迎えて頂き議員会館へ。ここで1部屋を用意してもらい昼食・休息の後、13時より見学を始めました。

一般から懸賞募集で選ばれた設計図を基に、1936年に建てられたお馴染みの建物、塩澤氏の案内で参観ロビーを経て、参議院本会議場へ。議場は2階にあり、3階まで吹き抜け、天井はステンドグラスの天窓となつています。正面中央には、開会式の時に天皇陛下が臨席されるお席があります。議席は半円形に配列され、貴族院議場の名残として460席ありますが、現在参議院議員の定数は242名ですので、全員出席でも空席が目立ちますね。(因みに席順は、新人は前に、当選回数が増えることに後ろになるとの事)

続いて造作は檜を用い、内装は本漆塗りになっていく天皇陛下下の「御休所」を見て、その中央部に真っ赤な絨毯が敷きこまれている中央階段を通り中央広場へ。ここは中央塔の真下に位置し、2階から6階まで吹

き抜けになっています。この広間には議会政治の基礎を築くのに功勞のあった伊藤博文・大隈重信・板垣退助の銅像が立っていますが、もう一つ台座が残っています。これは4人目を誰にするか決められなかった為、将来に持ち越されたと言われています。



明大校友会多摩市地域支部国会議事堂見学会 (2016. 4. 11)

国会議事堂にて

最後に各都道府県の木が植えてある前庭に出て、議事堂をバックに記念撮影をして、帰路につきました。いずれにしても先生方には、「国会議事堂」と言う日本を象徴する立派な建物に負けない中身のある議論をして頂き、我が国を先進国のリーダーとして恥じない方向にもって行って頂きたいものです。

会員活動便り

一、園芸日記

森 和子(S 39 文)

校友会の紫紺を読んで、少々季節感に乏しいかと思いい、せっかく都心を離れ少しは土もある所に住めるのを幸せと思えるように、狭い庭で季節を味わう私の園芸を、折々の季にそって書いてみようかと思いました。



春は立春より七十五日で咲く日本桜草。江戸時代にはかなり盛んに栽培され、幸いにもかなりの品種が残っています。私の母は明治末年に生まれ、幼時、浮間ヶ原に桜草見物に行ったということも聞いています。

今、私が作っているのは十品種にも満たず、地植えとはいかずプランターですが、花時は近所の方々に楽しんでいただいております。名前がいかに漢文の時代を反映し、春の雪、舞姫、白蜻蛉、朝日瀉等品種を作り出した人達の教養が偲ばれます。早く咲くのは四月上旬、遅く咲くのはほととぎすの鳴きだす頃と二週間

程は楽しめます。

今日、庭の手入れが一通り終わった後に通路のプランターを見ると赤と黒の大きな蜂がいて、雀蜂と思いき殺虫剤をかけました。

五月には時々麦などでしこを咲かせます。種の袋にはアグロス・テンマとあり、ヨーロッパの麦畑



の雑草です。麦と競い合って育つだけにかなり背が伸びますがプランターで育ちます。これは毎年ではなく、気がむいた時に秋に種をまきます。初夏をつげるのは鳥ではほととぎす、桜ヶ丘公園では毎年声が聞こえます。その頃に万葉集で詠まれた棟の花(施檀ともいわれます)が咲きます。小さい薄紫の花、仄かにチョコレートの香りがします。万葉の人々にとつては異国の匂いだったことでしょう。英語ではペルシヤンライラックと呼ばれています。

夏は花菖蒲、金蓮花、花すべりひ



自宅の花園にて

ゆ等余り手がかからず、乾きに強い花を選びます。

真夏にはいずこも同じく日除けとしてつるの伸びるもの。朝顔、夕顔、苦瓜と種々ありますが、私のところでは種をとつておいた、藤豆やシマ模様の朝顔をよく植えます。つる性のものはよく茂るかわりに水やりが大変。プランターですから植える前に土に保冷剤を三〜四個入れてやり

二、就農13年目に思うこと

須藤 忠志(S 48 商)

《就農事情》

昭和43年3月大学入試に失敗、1浪せざるを得ず予備校に行かせて欲しいと父に依頼したところ「2浪はさせない。失敗したら俺の後を告げ。」と言われました。

中学時代に「農業では飯が食えないので俺はサラリーマンになる。」と父に言ったときには「そうか、よかった。」と言っていた父でしたが、

翌昭和44年明大入学、48年卒業し銀行に職を得て32年、平成15年に父が死去し翌年就農、以来今年で13年目を迎えました。

母には豊富な知識と経験があるも

のそれは主に稲作や野菜に関するもので、周辺の環境が変化した現状では稲作野菜中心の農業は成立しないと判断し、概略左記の通り方向を決めました。

(イ) 果樹中心の経営(なるべく手間がかからなくて収益が期待できるものを生産する)

(ロ) 農薬・除草剤を極力使わない。(ハ) 子や孫が引き継ぎやすくしておく。

《就農後の経緯》

私の畑は大体従前の利用状況から3区分されていて以下の作業をしました。

(A) 昔たんぼだった畑

(B) 昔桑畑だった畑

(C) 従前から一般的な畑だった畑
就農後まず(A)の半分にブルーベリー70本と銀杏5本を定植

数年後(A)の残り半分に赤土で土盛りをしてミカン10本とブルーベリー40本、梅15本を定植。

更に5年前の東北大地震の年にブルーベリー40本を定植。

(B)の畑には祖父や父が栗を植えていたが、大半が枯れてしまった為これを整理し、3年前に梅25本を定植。

・更に今年4月には5年前に定植したブルーベリーが生育不良となつてしまった為、これを整理し柑橘類25本(ミカン5本、ユズ5本、甘夏ミカン5本、レモン10本)を定植。加えて④の畑の一部に銀杏5本を定植。

・◎の畑は従来通り母が主体で、イチゴ、ネギ、スナップエンドウ、ジャガ芋、里芋 etcを生産。(露地生産のみ)

《昨年の出荷物》

(果物等) ブルーベリー、ミカン、甘夏ミカン、梅、小梅、サクランボ、イチゴ、竹の子、銀杏
(野菜) ネギ、里芋、ジャガ芋、スナップエンドウ、ホウレンソウ、セリ、フキ、フキノトウ、小松菜、ナス、オクラ、スイカ、カボチャ、キュウリ

《出荷先》

- ①ポンテ(永山駅前・長野県富士見町と多摩市のアンテナショップ)
- ②JA東京みなみ(多摩市役所隣)
- ③朝市(直売所)(JA東京みなみ前 毎週水・金 8:45～9:45)
- ④いきいき市(直売所)桜ヶ丘スクウェアビル北 毎週月・木 1:30～4:00



農場にて

《今思うこと》

今年、13年前に植えた梅(南高梅)がようやく本格的な結果が出ました。(10本ありますが全体で200kg超を期待しています。)定植後3～4年は何も手を加えずにいましたが、農業指導員の方から指摘され、せん定の方法を指導してもらい5年目からは毎年せん定をしてきたところ、今年ようやく結果が出た次第。天候不順、災害は如何ともしがたいのですが、手をかければ果樹も野菜もきちんと答えを出してくれると感じます。

近所の農業の大先輩いわく、「成り物(果樹)は自分の代で結果が出るものではない。子や孫の為に植えるものだよ」と。我が家も私で14代目(推定)。曾祖父母、父母それ以前の先祖の先祖いつたい何人の先祖がこの畑を守ってきたのだろうと思ひながら作業する日々を送っています。

今年定植したミカンやレモンが実を付ける時、孫達と一緒に収穫する日を楽しみにあと10年、できれば父の行年81歳までは(それにはあと15年)頑張りたいと思います。

《あとがき》

・毎年、明大ESSの先輩、同期、後輩の皆さんと明大柴田ゼミの同期の皆さんが竹の子堀に来ています。(もう5～6年になると思います)

・「百聞は一見にしかず」と申しませう。興味のある方は是非一度畑を見てください。その際は事前にご連絡いただければ幸いです。

三、念願の東京マラソン完走

杉山 喬(S45工)

記念すべき第10回東京マラソンに参加し、見事完走できました。

このマラソンは、年々人気が高まり、この数年抽選倍率が10倍を超えています。今年の参加人数は36,500人ですので、応募者数はなんと40万人超です。毎年落選覚悟で申込みをしていましたが、今回運良く当選できました。

下咽頭癌の手術を受けてから2年半、今回のマラソンを通してよくぞここまで体力が回復したと自分でも驚きです。思いもなかった癌宣告。家族、姉妹そして友人に相当な心配をかけた私が、フルマラソンに挑戦し完走したとの報告には皆驚いたようです。ただし、姉からは、反対されるだろうと事後報告でしたが、案の定「なんて無謀なことを」と驚きを飛び越し、「二度と無茶しないように」ときつい言葉が返ってきました。



完走して(^.^)v

私もマラソン参加には、手術による後遺症、特に呼吸器系の障害が残っており心配でした。そこで、リハビリ教室の先生に相談したところ、「呼吸器系に細心の注意を払えば問題ないだろう。頑張るよう」との心強いお言葉をいただき挑戦することを決意しました。

2月28日(日) 絶好のマラソン

日和、都庁前からスタートし、ゴールは豊洲を通って東京ビッグサイトです。皇居外苑、銀座四丁目、雷門など都心の観光名所を回れる楽しいコースと言われていますが、私には景色を楽しむ余裕は全くなく、時間制限（スタートの号砲から7時間）を気にしながらの走りでした。各関門（通過制限時間）を走る度に時計を見ながらの走りでした。35km地点の築地からのコースは、海風を受け汗が出るどころか身体全体が冷え切って寒く、挙げ句の果てに左足ふくらはぎが「つって」しまい、走る事がままならなくなりました。ついには歩くこともしばしば、ゴールまでの制限時間が気になりだし、少しでも走らなければと思うのですが、なかなか思うように走れません。最後の2kmは歩いたり、走ったりの繰り返しになりました。でも漸くゴールに。感動のフィニッシュを迎えることができました。

結果は報告すべき内容でもありませんが、時間6時間19分39秒（ネットタイム）、男子順位（65歳〜69歳）629人中587位でした。
来年は70歳、節目の年になりますのでまた挑戦したいと思っています。

四、趣味

水彩画を描く（シリーズ④）

中山雅雄（S37法）

趣味でNHK文化センター八王子教室「楽しく描く水彩画」教室に入り8年続けております。



五箇山合掌造り（江向家）

会員の動静

（順不同・敬称略）

入会者

鈴木一巳（S50政経） 土田充（S33法）

退会者

残念ながら一身上の都合により次の方々が退会されました。

新田輝吉（S38商） 斉藤康夫（S46経営）
村山芳雄（S47政経） 小篠正慶（H6工）
新谷晶子（H15商）

会員数90名（平成28年1月現在）
会員相互の動静もお知らせください。

会費納入のお願い

未納の方は同封の振込用紙にてお支払をお願い致します。

編集後記

・紫紺8号へ紀行、絵画、写真、俳句等お気軽に投稿をお願いします。
・熊本地震で被災された方々にお見舞い申しあげ犠牲になられた方々へ哀悼の意を表します。1日も早い復興をお祈りいたします。
・10月15日昭和記念公園の箱根駅伝予選会、11月12日（土）〜13日（日）全国校友鳥取大会へ参加して盛り上げよう！（や）

多摩市地域支部ホームページの閲覧とご利用をお願い致します。
<http://meijikoyu-tamashi.jimdo.com/>

明治大学校友会多摩市地域支部

検索

会員登録・行事への参加申し込みはHPからできます。



②ヤマセミ（朝食ゲット）
撮影者 矢場岩男（S43商）



①早朝の尾瀬
撮影者 鶴田勇雄（S37法）

会員ギャラリー （自慢の一葉⑦）